

# 青少年とくしま



SEISHONEN TOKUSHIMA

発行 青少年育成徳島県民会議

〒770-8570 徳島市万代町1-1 徳島県未来創生文化部こども未来局こども家庭支援課内  
TEL.(088)621-2204/FAX.(088)621-2843 E-mail seinen@mail.pref.tokushima.lg.jp

令和6年3月31日

——— 子どもの笑い声は、社会の活力! いつも「こどもまんなか」 ———



## 誰一人取り残さない青少年の育成に向けて

青少年育成徳島県民会議  
会長 後藤田 正純

皆様におかれましては、日頃から青少年の健全育成活動に多大なご尽力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

青少年は「とくしま」の未来を担う大切な存在であり、その健やかな成長は、私たち県民すべての願いです。しかしながら、地域の繋がり希薄化や少子化の進行をはじめ、貧困や児童虐待、不登校、自殺など青少年を取り巻く環境は深刻化・多様化しております。

こうした中、国は令和5年4月にこども家庭庁を設立し、こどもの最善の利益を第一として、こどもの視点に立った当事者目線の政策に取り組んでおり、徳島県においても「未来に向かって挑戦し、成長・活躍できるとくしまの実現」を目指して、創造的な未来を

切り拓く青少年を応援する各種施策を実施しているところです。

そこで、当県民会議におきましても、親子の絆を深める「家庭の日」運動をはじめ、青少年の自立心・社会性を育む「少年の日」運動や地域自然体験活動の充実を図るとともに、誰一人取り残さない「こどもまんなか社会」の実現に向けた新たな青少年育成事業を展開して参る所存です。

今後とも、各市町村民会議をはじめ、関係機関や家庭、学校、地域と連携しながら積極的な支援を行い、青少年が未来への夢と希望を持てる社会を目指して活動を進めて参りますので、力強いご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 青少年育成運動のはじまり

青少年の健全な育成を目指す県民運動の推進母体となる「青少年育成徳島県民会議」が結成されたのは、昭和41年です。昭和40年、中央青少年問題協議会が総理大臣に提出した「青少年非行対策に関する意見具申」で、年々増加していく当時の青少年非行の実態を憂い、行政による総合的な対策の必要性と青少年の非行問題解決のためには国民的な協力が必要であることが強調されました。

この意見具申がきっかけとなり、政府は国民運動の提唱を閣議決定し、これをもとに昭和41年に青少年育成徳島県民会議が結成され、さらに、各都道府県に同種の組織、つまり、青少年育成県民会議が結成されました。

これが青少年育成運動のはじまりと言えます。

### 県民運動推進活性化活動事業

参加者  
85名

#### 令和5年度青少年育成徳島県民会議総会開催

令和5年8月3日(木)

とくぎんトモニプラザ(県青少年センター)大会議室

令和5年度青少年育成徳島県民会議総会を開催しました。

総会に先立ち、理事会が開かれ、令和4年度事業報告、収支決算報告及び役員改選(案)がすべて承認されました。

総会は、賛助会員、正会員、各市町村民会議の方々にも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。



大人ができることから始めましょう!!

自分自身を省みて、子どもたちの手本になるように努めましょう。

子どもたちと正面から向き合い、対話を深めましょう。

子どもたちを取り巻く環境を見直し、改善に立ち上がりましょう。

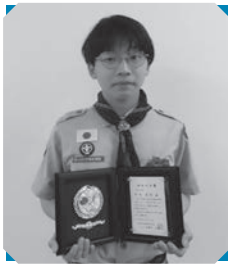
## 青少年育成徳島県民会議表彰事業



「はばたき賞」  
とは…

地域において、継続的な社会参加活動などを実践している青少年、家族及び青少年団体を表彰することにより、その活動を奨励するとともに、その活動が地域活動の模範となり、社会参加活動を促進し、ひいては青少年の健全育成に対する地域の意識向上を図ることを目的としています。

### 令和5年度青少年育成徳島県民会議表彰「はばたき賞」受賞者



#### 青少年の部

中東 遼弥さん

##### ○活動の分野

地域における社会福祉活動

##### ○活動内容

平成 25 年にボーイスカウト徳島第 11 団に入隊して以来、高齢者施設への訪問や、河川等の清掃活動、募金活動等のボランティアに取り組んでいます。日々積極的に活動する姿は他のスカウトの模範となっています。



#### 青少年の部

末澤 圭太郎さん

##### ○活動の分野

地域における社会福祉活動

##### ○活動内容

平成 29 年に徳島 BBS 会に入会し、青少年更生活動として非行少年とともに環境美化活動への参加や、児童養護施設の児童・生徒とのふれあいを通した相談活動等にも取り組んでいます。仕事の余暇を利用して精力的に活動する姿は他の会員の模範となっています。



#### 青少年団体の部

鳴門市第一中学校大代古墳等歴史的文化遺産保存会生徒のみなさん

##### ○活動の分野

地域における芸能・文化活動

##### ○活動内容

小学 5 年生の頃から、大代古墳をはじめとする地域の歴史的文化遺産のガイドや清掃活動を定期的に行っています。仲間や地域住民とともに、地域の文化遺産の保存・継承に積極的に活動する姿は、地域を輝かせる人財として模範となっています。



## 少年の日事業

毎月第 3 土曜日は、「少年の日」です。

毎月第 3 土曜日を「少年の日」と定め、その普及・推進を図るとともに、家庭・学校・地域社会が共通の理解と認識のもと、青少年の育成にあたるとともに、青少年自身が様々な体験を通して自立心や社会性を育てていくことができるよう、青少年団体に委託して次の事業を実施しました。

### 〈 青少年地域活動振興事業 (委託) 〉

青少年達自らの企画・運営により、子どもたちによるスポーツ活動や郷土芸能の伝承活動や野外での活動を通じて、地域での異年齢集団や青少年の団体活動等の活性化を支援しました。

#### 石井町青年団

##### 【きらスポ】子どもラグビー教室

日程 令和 5 年 11 月 19 日 (日)  
於 前山公園体育館 (名西郡石井町)  
参加者 50 名

運動や遊びを通して、子どもが積極的にスポーツを親しむ習慣をつけるとともに、社会教育の場として、地域の大人や子ども同士のコミュニティ形成を図りました。



～豊かな心と生きる力を育む家庭づくりのために～

家庭は、幼児から老人に至るまで人間が生涯にわたって協力し、助け合いながら生活を営み、安らぎを得、活力を養い、学び合う場であり、特に子どもにとって家庭や親の与える影響は極めて大きいものです。

近年、家庭における親子の関係が、生活様式の変化の中で多様化し、対話不足を始め多くの問題を抱える状況が見られ、家庭での親子のふれあいを高める場と機会を増やしていくことが必要となっています。

そこで、青少年育成徳島県民会議では、青少年と家族・地域の人達が共通のテーマのもと、率直に語り合い、相互理解を深めるための場を提供するとともに、共同作業を通して親子でふれあい、お互いの絆を強めていく、また、家族同士の交流を図る等、明るい家庭を推進するための事業を実施しています。

親と子のふれあいフォーラム

令和5年11月2日(木)  
三好市立池田小学校

笑顔でつながる家族の絆 ～親子で向き合い 伝え合おう～

今年度の「親と子のふれあいフォーラム」は、三好市立池田小学校で開催しました。開催日当日はオープンスクールでもあり、多くの保護者や地域の方が小学校を訪れていました。

はじめに、徳島県立総合教育センターの谷アドバイザーから、『自分の良さ』『自身を守るための学び』『命の大切さ』など、どの授業も皆さんがキラキラと輝き、頑張ろうとしていることがよくわかりました。何事にも興味を持って取り組むことで、頭と心が育っていくのだなと思いました。」と授業を見学して感じたことを児童らにお話されました。



先生が落語に挑戦!!

保護者の方々に対しては、「これからの時代を生きる子ども達は、様々な人たちと協力しながら、ともに取り組み、自分の良さや可能性をいかして、よりよく生きていこうとする資質や能力が必要不可欠です。予測が困難な時代といわれ、保護者の方々も我々も経験したことのない変化の激しい時代に、子ども達が主体的に未来を切り拓いていくためには、親子で向き合い、たくさん話をして、思いや考えを伝え合いながら、学校とともに子ども達を見守っていくことが大切です。」とお話がありました。

続いては、徳島県出身の落語家 笑福亭學光さんによる落語や腹話術です。出囃子が流れると会場の雰囲気が一変しました。子ども達は興味津々で舞台を見つめています。學光さんから落語の豆知識を教わり、次第に落語の世界に引き込まれる会場。あっという間に会場全体が笑顔と笑い声にあふれました。

また、學光さんは地震で被災した時のことを振り返り、「悩んで、落ち込んで、辛いことがあった時ほど『一人で悩まないこと』『誰かに相談すること』が大事。」周りの人に相談したことがきっかけで、腹話術に出会い現在の活動に繋がったことなど、自身の体験をもとに語りかけてくれました。

意見交換会では、児童から保護者へ、保護者から児童へ、日頃言い出しづらいことや要望など、活発な意見交換がありました。最後に谷アドバイザーから「目をみて話をすることは、とても素敵だと思います。今日をきっかけに保護者の方も、しっかりと目をみて、たくさん話をして欲しいです。」と締めくくられ、親子が目と目を合わせ思いを伝えあう大切さを教えてくれました。

このフォーラムは、児童にとっては家庭・地域との繋がりを理解し、保護者・地域の人にとっては、学校と家庭・地域が連携して子育て・地域づくりを考えていく、よいきっかけになりました。



笑福亭學光さん



意見交換会



地域の子どもは地域で守り、育てましょう

11月 子供・若者育成支援強調月間  
11月1日～7日 とくしま教育週間



## 青少年育成事業

### 子ども・若者支援のためのコーディネーター養成講座

参加者  
36名

会場：とくぎんトモニプラザ（県青少年センター）・オンライン 同時開催

第1回：10月16日（月）

テーマ：居場所づくり ～困難を抱える子どもたちへの支援～

講師：西野 博之氏（認定 NPO 法人フリースペースたまりば 理事長）

生きづらさを抱える子どもが増えています。子どもの健やかな成長のために求められる子どもの居場所とは、どういうところなのか。子どもの居場所に関わる大人の眼差しとは、どのようなものなのか。困難を抱える子どもの声を聴き受け止めるために、私たちはどのような力をつければいいのかを、一緒に考えました。



第2回：11月10日（金）

テーマ：ヤングケアラー支援について ～子どもと家族を孤立させないための多職種連携～

講師：青木 由美恵氏（関東学院大学看護学部／大学院看護学研究科 教授）

「みえにくい存在」といわれるヤングケアラー。支援が必要な子どもと家族に気づき、周囲の人々や関係機関が連携していく大切さについて考えました。

### 小学校児童との「三好市の花 さぎ草」植付活動に参加して

徳島県青少年育成アドバイザーの会 細川 憲治

さぎ草は、30年ほど前より、絶滅が危惧され、地元漆川小学校児童が苗を育て黒沢湿原へ移植していましたが廃校となり、その活動を川崎小学校、三縄小学校に引き継ぎました。私は、小学校児童、池田ライオンズクラブ会員と一緒にさぎ草植付活動に取り組んで今年は23回目になります。

三縄小学校は、自然保護活動による令和4年度環境大臣賞を受賞、令和5年度スーパーGXスクール指定校として、さぎ草の保護活動に取り組んでいます。

今年の活動では、児童27名が同町漆川の黒沢湿原にさぎ草を植付して7月には白い花が咲きます。児童は黒沢湿原のさぎ草園で球根から育てた約1,000株の苗を植え付けました。小学校児童と自然保護活動を通じての活動を今後とも継続したいと思っています。



## 徳島県 子ども・若者総合相談センター

相談時間 毎週 月・水・木・金・土（10:00～12:00 / 13:00～17:00）

※火曜日が祝日の場合の翌日の水曜日と年末年始を除く

電話番号 088-626-6188

☆相談内容によっては、県内の関係機関を紹介させていただく場合もあります。

☆面談での相談をご希望の場合は事前に予約が必要です。

相談料  
無料

〒770-8055 徳島県徳島市山城町東浜傍示 1-1 アスティとくしま 2階 子育て総合支援センター「みらい」内

## 青少年活動支援事業

### 〈 地域青少年活動活性化事業(委託) 〉

地域の青少年自らの手により青少年団体活動の振興を図り、次代を担う青少年たちが、心身ともにたくましく成長できることを目指して事業を実施しました。



#### 徳島県少年補導協助手連絡協議会 自立支援料理教室

令和5年12月17日(日)  
令和6年1月28日(日)  
2月10日(土)

活動内容：県内の児童養護施設に入所する異年齢の児童を対象に、簡単な自炊ができるよう料理体験を行いました。児童が自立に向けて、経済的で栄養価の高い献立の料理を学び、地域ボランティア等との交流を図ることができました。

参加人数：48名



#### 藍住町青少年健全育成会議 アドプトプログラム吉野川活動

令和5年9月9日(土)  
参加人数：208名

活動内容：吉野川河川敷の清掃活動を実施することで自然に親しみ自然を大切にすることを、奉仕活動を実践することで親切心や思いやりの心を育みました。異年齢の子どもや保護者が集い、共に活動ができたことで、今後の地域の活性化に期待できる活動となりました。



#### 徳島県民生委員児童委員協議会 (佐古地区民生委員児童委員協議会) 万年山清掃

令和5年11月12日(日)  
参加人数：240名

活動内容：小中高生が保護者や町内会・地域の方々と協力し、国指定史跡蜂須賀家万年山墓所を中心とした史跡指定範囲内の清掃を行いました。環境美化を通して、地域の歴史学習に寄与するとともに、地域の大切な場所を守り受け継いでいくことの素晴らしさと大変さを学びました。



#### 徳島県民生委員児童委員協議会 (八万民生児童委員協議会) 親子木工工作

令和5年7月16日(日)  
参加人数：74名

活動内容：木工工作を通してモノづくりの楽しさや大切さを学びながら、地域の子どもや大人が交流できる場となりました。「親子の触れ合い」「地域の交流」は地域の防犯活動にも期待できる活動となりました。



#### 那賀町青少年健全育成センター 親子太龍寺登山

令和5年12月2日(土)  
参加人数：22名

活動内容：皆で協力して空海ゆかりの太龍寺遍路道を歩くことにより、達成感、チャレンジ精神等を育み、また参加者同士の交流を深めることができました。那賀町は人口減少に加え子どもの数も非常に少ない町ですが、世代間で協力して活動することで素晴らしい町になれると認識しました。



#### 青少年育成小松島市民会議 地域で、みんなで、防災スキルアップ 「プロジェクトW<sup>2</sup>C」

令和5年8月20日(日)  
参加人数：17名

活動内容：湾内で採取した水を浄化する方法やフェーズフリーの防災食、身近にある段ボールを使ったトイレ作りなど、災害発生時に役立つスキルを学びました。地域のNPO法人、高校生ボランティア、防災委員会のメンバーが、子どもや保護者との交流を図り、今後の地域での活動に期待できる取り組みになりました。



徳島県子ども会連合会

気分爽快 ウォータースプラッシュ!!

令和5年7月16日(日)  
8月10日(木)

参加人数: 58名

活動内容: コロナ禍で縮小していた地域の子どもや大人の交流の場を提供しました。年上の子が小さい子の面倒をみたり、お互いを助け合ったりと、集団生活で養われる協調性や自発性を育む機会となりました。



北島町青少年健全育成協議会

みんなで楽しくのびのびと…  
(レクリエーション)

令和5年11月26日(日)

参加人数: 80名

活動内容: 親子が地域住民とともにのびのびとレクリエーションを楽しむことにより、幅広い年齢層の交流が生まれ、心身ともに青少年の健全な育成が図れました。

〈 子ども自然体験事業(委託) 〉

豊かな社会性を育むという基本理念のもと、自立心や意欲、自ら行動するたくましい力を身に付ける為に自然体験活動事業を実施しました。



徳島県子ども会連合会  
(阿南市子ども会連合会)

令和5年8月19日(土)

参加人数: 55名

休校(新野西小学校)を利用した野外活動

活動内容: 思い出のある学校が地域のコミュニティスペースとなるよう、子ども会の野外活動で再利用しました。火おこし体験・飯盒炊飯・カレーづくり・スノードームづくり・川遊びなど多くの活動を通して、親子や異年齢の子どもたちが交流しました。地域との繋がりができ、今後の地域での活動に期待できる取り組みとなりました。



ガールスカウト徳島県連盟

ワクドキ!夏休み親子自然体験

令和5年8月19日(土)

参加人数: 19名

活動内容: 専門の指導員と野鳥・昆虫・水生動物の生息域の散策や、自然物を使ったハンドクラフト、おやつ作りをしました。異年齢の子ども達が交流を深め、自然界の魅力を実感しながら日常生活ではできない体験となり、また自然環境の保全に関心を持つきっかけとなりました。



徳島県保育事業連合会  
(勝浦みかん保育園)

令和5年8月29日(火)

参加人数: 54名

未来につなげよう ホタルの住める川へ!

活動内容: 地域の防災士やボランティアの方と坂本川河原の清掃活動を行いました。ペットボトルろ過装置の実演や竹水鉄砲作り、河原での遊び等を体験し、後日ホタルの餌であるカワニナを放流しました。様々な年代の人との交流により自立心や協調性が芽生えたとともに、自然の大切さを学ぶ機会となりました。

# 第69回青少年非行防止県下中学校生徒弁論大会 令和5年度 少年の主張 徳島県大会

令和5年9月13日（水）  
徳島県立21世紀館

次代を担う青少年が健やかに成長することは、県民すべての願いであります。

そこで、中学生が日常生活を通じて考えていることを発表し、広く一般に訴えることにより、中学生の意識を深めるとともに、青少年の健全育成と非行防止を図ることを目的とし実施いたしました。

地区大会の審査を経て選出された代表者が発表しました。



## 最優秀賞



思春期の取説  
上八万中学校2年 山口陽菜乃



## 優秀賞 第一席



一步一步  
大麻中学校2年 横瀬 心美



## 優秀賞



これからの私  
鴨島東中学校2年 國本 瑞歩



三つの約束  
小松島南中学校3年 宮田 陽菜



「いただきます」  
山城中学校3年 中村 蒼空



なりたい自分を生きる  
穴喰中学校3年 松島 綾花



言葉の力  
富田中学校2年 藤岡 綾子



「優しさ」をつなげていく  
神山中学校2年 一宮 悠真



己に勝つ  
加茂谷中学校3年 松田 大地



いじめのない世界へ  
江原中学校3年 工藤 万鈴



最優秀賞  
思春期の取説

徳島市上八万中学校  
2年 山口陽菜乃

青少年の非行を防止するためには、どんな解決方法があるのでしょうか。私は、今話題のAIに質問してみました。AIの回答は、「親が子どもに愛情と関心を持ち、子どもの話をよく聞く。いじめや不登校などの問題を早期に発見し、適切な対応を行う。貧困や失業などの問題を解決し、子どもたちが安心して暮らせる環境を整える。非行の危険性や非行の被害について教育する。」というものでした。

この答えを聞いて、「なるほど」という気持ちと、「いや、それだけでは解決できるものではない」という気持ちがしました。なぜなら、同じ環境や状況でも、非行に走る人と、そうでない人がいるからです。自分自身については、家族や周囲の人々の愛情をいっぱい受けて育ってきたと思っています。けれど、イライラすることもあるし、意味もなく怒ってしまうこともあります。そんなときは、母に教えてもらったことを思い出しています。「大人でも自分をコントロールするんは難しいんよ。思春期をむかえている子どもは、不安定で当たり前なんよ。」その言葉を聞いて、私は、自分のことが嫌いになりかけていたときでも、落ち着いて行動できるようになりました。私が不安定な時期があるように、みんなも不安定な時期があるかもしれないと思うからです。

自分のことを思って言ってくれている、と分かっている、と素直に聞けない。そんなときでも、私は、本や漫画のセリフなら共感できることがあります。私は、作品に感情移入することによって、主人公たちと一緒に乗り越えることができます。「やり

たいことを思いっきりやるためには、やりたくないことも思いっきりやんなきゃいけないんだ。」主人公に対して、仲間が言った言葉です。

「やることをやってから遊びなさい。」と言われたら、私は「わかっているよ。うるさいなあ」と思うこともありますが、作品の中のセリフなら、何故か素直に納得できます。

また、友達が急に話しかけてくれなくなり、どうしていいかわからずに、悲しくて悔しかったとき、このセリフを思い浮かべました。「泣いても大丈夫。みんなそうだよ。お天気の日ばかりじゃいられないんだから、かわりばんこに励ましあっていけばいいんだって。」その言葉は、私の不安な気持ちに寄り添ってくれました。そして、人はひとりでは生きていけない、お互いに頼ったり頼られたりすることが大切なんだ、と気づかされました。

仲間の励ましや大切な人の言葉は、つらいとき、苦しいとき、非行に走りそうになっても、何かのきっかけで踏み止まることができると思います。それは、私にとっては母の言葉、本や漫画のセリフですが、人それぞれ、周りの人の言葉や、大事にしているものがあるのではないのでしょうか。それは、あなたの軸になるはずですよ。今の生活で苦しいことがあっても、その言葉を糧として、自分の生活をより良いものにしていきませんか。

大人のみなさん、私たちは、愛情いっぱいでも不自由なく生活できていたとしても、心と体は常にふわふわ揺らいでいます。でも、それは周りの影響を受けながら、大人として自分を確立するために、大切な時期なのです。みなさんが心配し、かけてくれた言葉に対して、そのときは素直に聞けなかったとしても、非行に走るプレーキになるかもしれません。たとえ、私たちが反抗的な態度をとっていたとしても、あきらめず、見捨てず、最後まで温かく見守り、接してほしいです。



審査委員長  
(鳴門教育大学大学院学校教育研究科特任教授)  
藤田 完

現在、生成AIによる情報化社会の変容など社会の変化のスピードがますます速くなっていることを実感していますが、どんなに社会が変化しても、変わらない大切なことがあります。それは、人と人とのつながりや対話を大切にすることです。本日のみなさんの発表には、そのことがきちんと示されていたように思います。先行き不透明な厳しい状況の世の中においても、大切なことを忘れないみなさんのそれぞれの発表に感動を覚えると共に、未来を切り拓いていくたくましさを感じることができました。

審査員名簿

◎審査委員長

◎ 藤田 完	鳴門教育大学大学院学校教育研究科特任教授
磯久 隆夫	徳島保護観察所長
森 廣一	徳島県保護司会連合会会長
小川 善弘	徳島県中学校長会会長 (徳島市徳島中学校長)
武市 信宏	日本放送協会徳島放送局コンテンツセンター長
大栗 一敏	徳島県青少年補導センター連絡協議会会長
生田 雅和	徳島県教育委員会教育次長
藤井 里美	徳島県警察本部生活安全部少年女性安全対策課少年サポートセンター副所長
中村 愛	徳島県未来創生文化部こども未来局こども家庭支援課副課長

## とくしまソーシャル・アンクル運動普及事業

### 第11回きずな発見子供ふれあい活動に参加して

徳島県青少年育成アドバイザーの会 監事 桶川 佳広

私が入会しているボランティアグループ「徳島県青少年育成アドバイザーの会」が主催する、「第11回きずな発見子供ふれあい活動」が令和5年7月30日(日)に開催されました。

この活動の主な目的は、県下の児童と我々会員とが「昔の遊び」などを通してふれあい、夏休みの楽しい思い出をつくってもらうことです。以前は夏休みが始まった直後の7月末頃、鳴門ウチノ海総合公園の屋外で行われていましたが、昨今の熱中症への配慮から、3年前からはエアコンの効いた徳島市立ふれあい健康館内で実施しています。

我々会員は一足早く集合し、会場設営をしました。面積145㎡(収容人数84名)の広い部屋の机や椅子を片付け、床にブルーシートを敷き、昔の遊び(コマ回し、お手玉、けん玉、おはじき、オセロ、ビー玉、紙相撲、めんこ、折り紙、トランプ、知恵の輪)道具を並べました。また別の係りは昼食のお弁当、お茶の仕分け、案内看板表示などの準備を済ませ児童達の来場を待ちました。

今年は幼児から小中高校生まで引率の方々を含め約30人の参加がありました。今年から新たに女子会員のアイデアで、マニキュアシール貼り、木製ピンチに絵柄入りのマスキングテープ貼りという簡単な工作遊びも取り入れ、これが多岐の好評でした。

皆が昔の遊びに興ずる中、ある児童は部屋の隅で皆の輪に交わろうとせず、

時にはタオルで頭を覆い隠すような姿を見せていました。私は何とか彼の興味を引こうと、得意のお手玉を見せたりして何度か声掛けしましたが、彼からの反応はありません。しかし午後になると皆に交じって少年らしい笑顔を見せながら遊びに興じていたのです。昼食は部屋を変え、こちらが用意したお弁当を食べてもらいました。そのお弁当のおかげかどうかは疑問ですが、こちらの誠意が伝わったのでは?と思うと、少しうれしくなりました。

昨今デジタルゲームやYouTubeに熱中する子供が多い中、大人と接する機会は多くありません。我々にとっても我が子や孫のような児童の生き生きとした表情を間近に見ながら会話することはめったにありません。近所のおせっかいおじさん、おばさんではなく、年の差はあるけど友達感覚で一緒に遊びながらふれあうことができたと思います。短い時間でしたが、このような経験を一人でも多くの大人達に経験してもらい、子供たちへの理解と関心の目を向けてもらいたいという願いが湧いてきました。



## とくしま アドバイザー通信

Vol.25

### 子ども・若者支援活動の継続を!

平成8年に設立された当アドバイザーの会は、多くの関係者や関係機関の支援をいただき今年27年を迎えました。この間、青少年育成徳島県民会議の諸活動と連携して、子ども・若者支援活動に取り組んでいます。中心の活動は青少年育成徳島県民会議の委託事業として「子どもたちのふれあい活動」があります。また、徳島県青少年センターでの「センターまつり」、徳島市ふれあい健康館主催の「地域の子どもたちのふれあい活動」に積極的に参加して、地域の大人の方々との連携感を持って近くの子どもたちを温かく安全・安心を見守り「地域の子ど

徳島県青少年育成アドバイザーの会 会長 谷口 崇義

もは地域で育てる」をテーマとした「とくしまソーシャル・アンクル活動」です。

コロナ禍を経過しましたが、能登半島地震災害の傷跡、インターネットの危険性、薬物乱用事件、闇バイト事件など青少年健全育成のために地域の方々の繋がりが大切です。当アドバイザーの会としては、今後とも子ども・若者支援活動を地道に継続して、青少年育成活動に取り組んで参ります。

### 全国青少年育成アドバイザー連合会および中国・四国ブロック青少年育成アドバイザー連合会総会・研究集会に参加して

徳島県青少年育成アドバイザーの会 副会長 村井 明子

令和5年6月10日、11日の2日間にわたり、上記総会・研修会が香川県丸亀市のオートレースまるがめ会議室(ROKU)において開催されました。12都道府県から52名のアドバイザーが集まりました。今回、オートレース場の会議室で開催されるということで、はじめてオートレース場に入る私は少しドキドキしましたが、とてもきれいな会場でした。会場からはオートレースの様子も眺めることもできました。(もちろん、総会終了後ですが…)

1日目は、はじめに基調提言として、香川県子ども政策推進局副主幹の熊野真美さんから「香川県の青少年行政の取組について」講演があり、香川県の取組について説明を受けました。

続いて、記念講演として元香川大学教授の小柳晴生さんから「発達障害(しょうがい)という謎」と題して講演がありました。小柳先生は55歳で退職し、里山で「半隠居生活」をしており、半隠居生活は今年で18年になるそうです。発達障害とは、一般的に「脳の機能障害(特

性)であり、育て方や躰とは関係ない」といわれていますが、先生はそれに反論し、発達障害と愛着障害に言及し、発達障害と呼ばれる子どもが増えている理由として、親子の情緒的交流がうまくできない「愛着形成不全である」と唱えており、とても興味深く聞くことができました。

そして、全日本および中国・四国ブロックそれぞれの総会終了後、会場をオークラホテル丸亀に移し、交流・親睦会が行われました。参加者が各県ごとに、自己紹介や各県の活動や取組について報告しました。参加者の皆さんの熱いパワーを感じることが出来ました。

私は、1日目だけの参加でしたが、2日目は全体研修として、即興劇公演(自己開示を通して、心の交流と自立への道程を…)が実施されています。

今回、参加させていただき、他県のアドバイザーの方々との交流を持つことができ、私自身、良い刺激をもらった1日でした。

## とくしまソーシャル・アンクル運動

とくしまソーシャル・アンクル運動は、青少年に深い理解と愛情を持つ指導者や育成者の協力により、地域の大人が子どもたちを温かく見守り、支援する活動を通じて「地域の子どもは地域で育てる」という気運の醸成を図るとともに、地域の連帯感と教育力を高めることをねらいとしている運動です。徳島県青少年育成アドバイザーの会では、青少年育成徳島県民会議からの委託を受けてこの運動のために活動を行っています。

は、青少年育成徳島県民会議からの委託を受けてこの運動のために活動を行っています。

徳島県青少年育成アドバイザーの会事務局  
(徳島県青少年センター内)



# 賛助会員の方々の紹介



## 個人会員の方々 (50音順・敬称略)

安藤 清一郎	片山 茂	谷口 輝	細川 憲治
井坂 稔	上窪 和男	坪井 静子	三好 登美子
伊勢 悦子	國見 聖	戸倉 洲満子	村田 壽子
猪尾 寿枝	栗栖 昭雄	殿川 一夫	百井 一芳
岩崎 司朗	小泉 和子	中村 功	八木 貴美
馬留 寛	白石 勝美	西岡 賦文	山本 淹子
大西 智城	武田 カネ子	畠山 栄泰	吉川 英治
大山 真美	谷口 崇義	藤井 智子	

## 法人会員の方々 (50音順・敬称略)

アース環境サービス株式会社四国支店  
 東海運株式会社  
 阿波池田ライオンズクラブ  
 阿波観光ホテル  
 株式会社阿波銀行  
 阿波製紙株式会社  
 株式会社イシイフーズ  
 石原金属株式会社  
 大塚化学株式会社徳島工場  
 株式会社大塚製薬工場  
 大塚テクノ株式会社  
 株式会社河野メリクロン  
 グランド印刷株式会社  
 株式会社四国銀行徳島営業部  
 四国電力株式会社徳島支店  
 セーラー広告株式会社徳島支社

大鵬薬品工業株式会社徳島工場  
 剛測量設計株式会社  
 協業組合徳島印刷センター  
 徳島経済振興協同組合  
 協同組合徳島経済フォーラム  
 徳島県高等学校 PTA 連合会  
 一般社団法人徳島県仏教会  
 株式会社徳島大正銀行  
 徳島トヨタ自動車株式会社  
 徳農種苗株式会社  
 株式会社ナカテツ徳島工場  
 日亜化学工業株式会社  
 日新器械株式会社  
 日本たばこ産業株式会社四国支社徳島支店  
 平山建設株式会社  
 株式会社丸本



お陰様で、今年度も青少年の活動支援を維持することができました。ありがとうございました。皆さんの温かいご支援に感謝申し上げます。

## 賛助会員募集のお知らせ

次代を担う青少年が、心身とも健全に成長することは、県民すべての願いです。青少年育成徳島県民会議ではこの願いを実現するため青少年健全育成運動を推進しています。また、多くの方々にこの運動に参加して頂くために、賛助会員制度を設け、県民の皆様方からのご支援を賜っております。明日の郷土「徳島」を担う青少年の健全育成のため、是非ご加入くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

入会手続き・入金について	会費について	会費の使い道について
事務局から入会に必要な書類と、振込手数料のかからない振込用紙を送付させていただきます。また、年間2種類の発刊紙やお知らせを送付させていただきます。	個人会員様… 2,000円/1口 法人会員様… 10,000円/1口 〔何口でも大丈夫です。〕	皆様からの賛助会費は、青少年育成徳島県民会議の数ある事業の中で、下記の用途に活用されています。 ◇「とくしまソーシャル・アングル運動」 ◇「はばたき賞の表彰」 ◇「青少年活動支援事業」

## 。。。青少年のこころを育てるキャンペーン。。。

### 毎月第1日曜日は「家庭の日」

家族でくつろいで話せる場を作りましょう!!  
 徳島県と青少年育成徳島県民会議では、昭和42年から毎月第1日曜日を「家庭の日」と定め、家族がお互いに理解し合える明るい家庭づくりを推進しています。

### 毎月第3土曜日は「少年の日」

子どもの自立の芽を育てましょう!!  
 昭和58年から毎月第3土曜日を「少年の日」と定め、地域における少年の自立と社会参加の促進を図るための活動を展開しています。地域の子どもは地域で育てましょう。

# 青少年センターまつり 2023

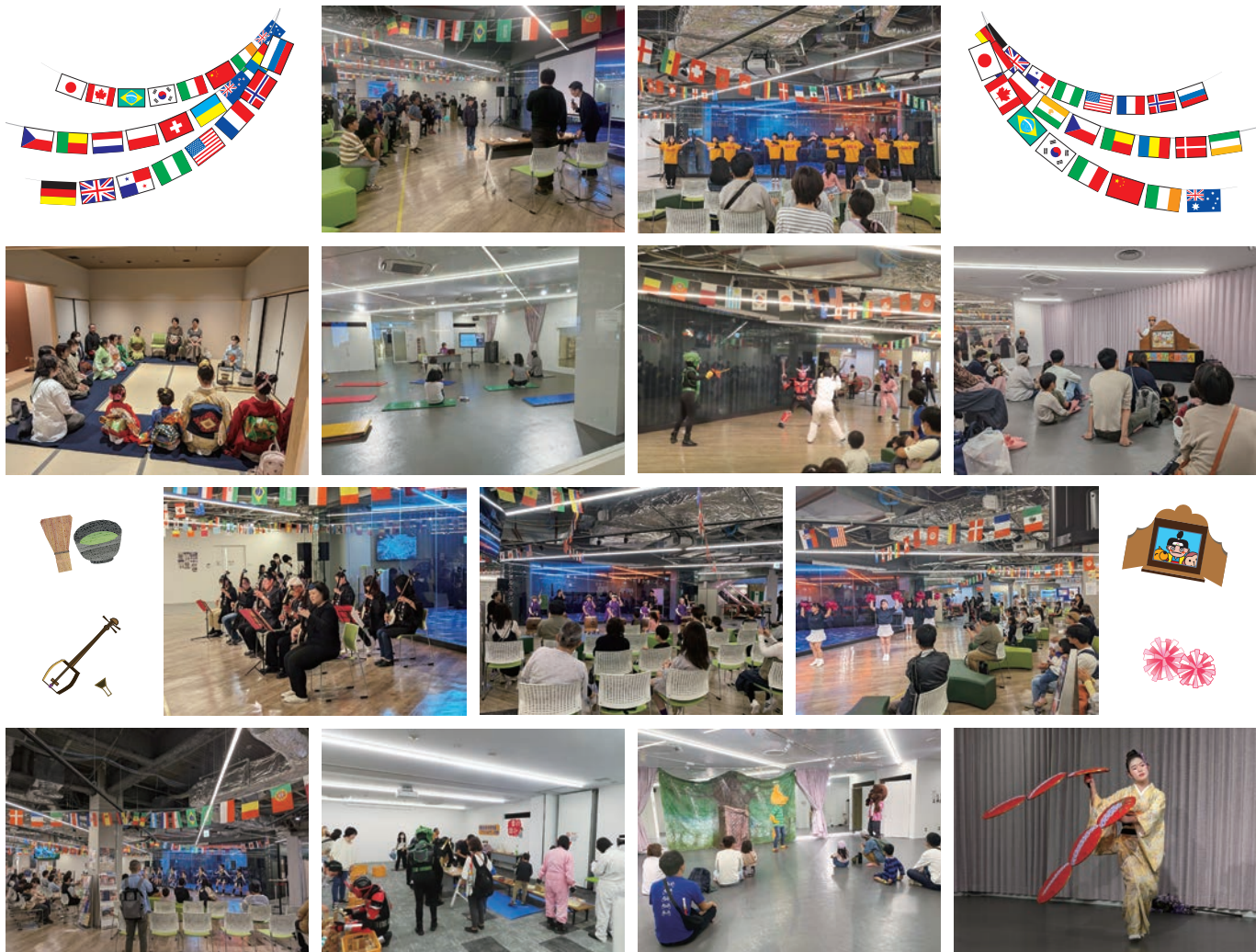
参加者  
600名

令和5年11月5日(日)

とくぎんトモニプラザ(県青少年センター)

センター移転後、初めてとなる『青少年センターまつり』を開催しました。

青少年センターまつりは、親子が一緒に参加できる催しを通して親子のふれあいを深めるとともに、県内で活動している青少年団体を広く知ってもらい、活動の活性化を図ることを目的として開催しております。ステージでは、徳島県内で活動している12団体がダンスや伝統芸能、紙芝居などを披露しました。また、こども広場では、焼き菓子や手芸品の販売、昔遊びや木工工作の体験コーナーを設置しました。その他、茶道体験やe-スポーツ大会なども開催し、大人から子どもまで楽しむことができるイベントとなりました。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。



## とくぎんトモニプラザ (徳島県青少年センター)

徳島県 とくぎんトモニプラザ  
TOKUGIN TOMONY PLAZA



県民の新たな交流拠点としてアミコビルに移転し、令和4年9月にグランドオープンした徳島県青少年センター「とくぎんトモニプラザ」。スポーツや文化芸術に取り組むための設備が充実し、幅広い世代の方々が利用しています。是非、足を運んでみてください。

### 【ご利用案内】

- 開館時間／9：00～21：00（インターネット予約24時間可能）
- 休館日／第4水曜日、年末年始12/29～1/3
- 駐輪場／自転車・バイクは無料（アミコラインパーク）
- 利用料／詳しくはホームページをご覧ください。
- 所在地／徳島市寺島本町西1丁目5番地 アミコビル東館9階・屋上
- 問合せ先／☎088-625-3852（10：00～20：00）

